

ホホバ

頒布会便り



発行
毎月一回
(株)アイリス

四月に入り、暖かい春の日差しに誘われて、何かと外に出ることが増えてくるこの季節。今の時期に、うっかり紫外線対策を忘れてしまうと、気付かぬ内にお肌の光老化が進んでしまいます。くれぐれもご用心ください。

春の紫外線 A波にご用心

春の柔らかな日差しは気持ちの良いものですが、うっかり無防備でいると、気付かないうちに紫外線を浴びてしまっています。

中でも、特に注意したいのが、紫外線A波。春は、この紫外線A波がすでに真夏と変わらない位降り注い

でいますから、この季節の十分な紫外線対策が、お肌に大きく差をつける事になります。

紫外線による 光老化を防ぐ

夏の強い日差しには、紫外線B波が多く含まれ、肌を焼き、メラニンが増えて日焼けを引き起こしますが、今の時季の柔らかな日差しや、曇り



の日でも、A波は真夏と変わらずにお肌に降り注いでいます。

実はこのA波が、紫外線によってお肌を老化させる「光老化」の原因。気付かないうちに浴びてしまったA波によって、お肌は老化を進めてしまいます。

この時季、紫外線対策をしっかりして、紫外線による光老化を防ぎましょう。

春のお手入れの 仕上げに

春は、お肌が不安定になりがちで普段よりも敏感になりやすい季節です。すから、なるべく刺激をしないお手入れをする事が大切です。

お肌を刺激せずに、生活紫外線をしっかりと防ぐため、ホホバUVカットをぜひ、ご利用ください。

春の紫外線A波を防いで お肌を老化から守る！

春の柔らかな日差しに潜む、お肌にとって非常に危険な紫外線A波。

紫外線による、光老化が広く知られる様になつてきましたが、まだまだ十分な対策をしていない方が大半です。ぜひ今から始めましょう。

◆春の紫外線量

夏場、ジリジリと肌を焼く紫外線B波は、肌が赤くなったり、すぐに日焼けを起こすので、ほとんどの方が気をつけて紫外線対策をしています。

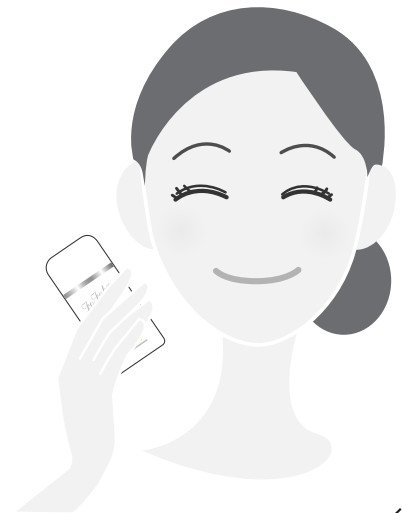
しかし、まだ日差しも強くはなく、ポカポカと暖かい春は、つい紫外線対策もしないまま、日差し↓

↓を浴びてしまいがちです。

この時季の紫外線は、日焼けを起こすB波はまだ真夏ほどではありませんが、お肌を老化させるA波は、真夏とほとんど変わらない量が含まれていますから、注意が必要です。

◆毎日の生活紫外線

毎日の、生活紫外線をしっかりと↓



↓と防ぐ事が、お肌を老化

させない一番の方法です。

曇りの日や、洗濯物を

干す、ちよつとした時間

等の、紫外線対策をして

いない時間の積み重ねが、

少しずつ、しかし確実に

お肌を老化させて行きま

すから、晴れた日だけでなく、毎日

のお手入れの仕上げに、紫外線対策

を習慣づける事をおすすめします。

◆手・首の光老化

お顔のお手入れをしっかりとしている女性でも、年齢は手や首に出る、とはよく言われる事ですが、それも原因の大半は紫外線。

お顔に比べて紫外線対策が疎かになつてしまう分、光老化が進んだ結果、シミやシワ、皮膚のたるみが進んでしまうので、年齢がそのまま出↓



Q 今まで、UVカット効果のあるファンデーションを使っていて、お化粧品で直接肌に紫外線は当たらないし大丈夫、と思っていました。しかし、肌の綺麗な友人に「UVカットは一年中、ファンデの前に必ずつけた方がいいよ」と言われました。ファンデの前にホホバUVカットを付けた方がいいのでしょうか？



A いつもありがとうございます。ございます。

ホホバUVカットは、ご友人の仰る通り、基礎化粧の仕上げに、年間通しのご利用をおすすめしています。また、UV効果の入った下地やファンデーションと併用しても、単純にSPF50+50で100とはなりません。ご注意ください。

✓ やすくなってしまうのです。今からでも、しっかりと紫外線をカバーして、お肌の老化を食い止めましょう。

◆生活紫外線を

浴びないためには

- ・ゴミ出しや洗濯物干しは、朝のお手入れ後、UVカットをつけてから。曇りの日も同じです。
- ・UVカットを塗る時は、額・鼻

✓ 筋・頬等の部分には二度付けを。また、手・首筋にも忘れずに付ける習慣を。



- ・首から鎖骨の下の部分も、紫外線の影響で光老化が進み易い部分です。忘れずに付けましょう。

・真夏になると、手放せない日傘ですが、ぜひ、今の季節から春色の傘などでお洒落を楽しみながら使いましょ。

